


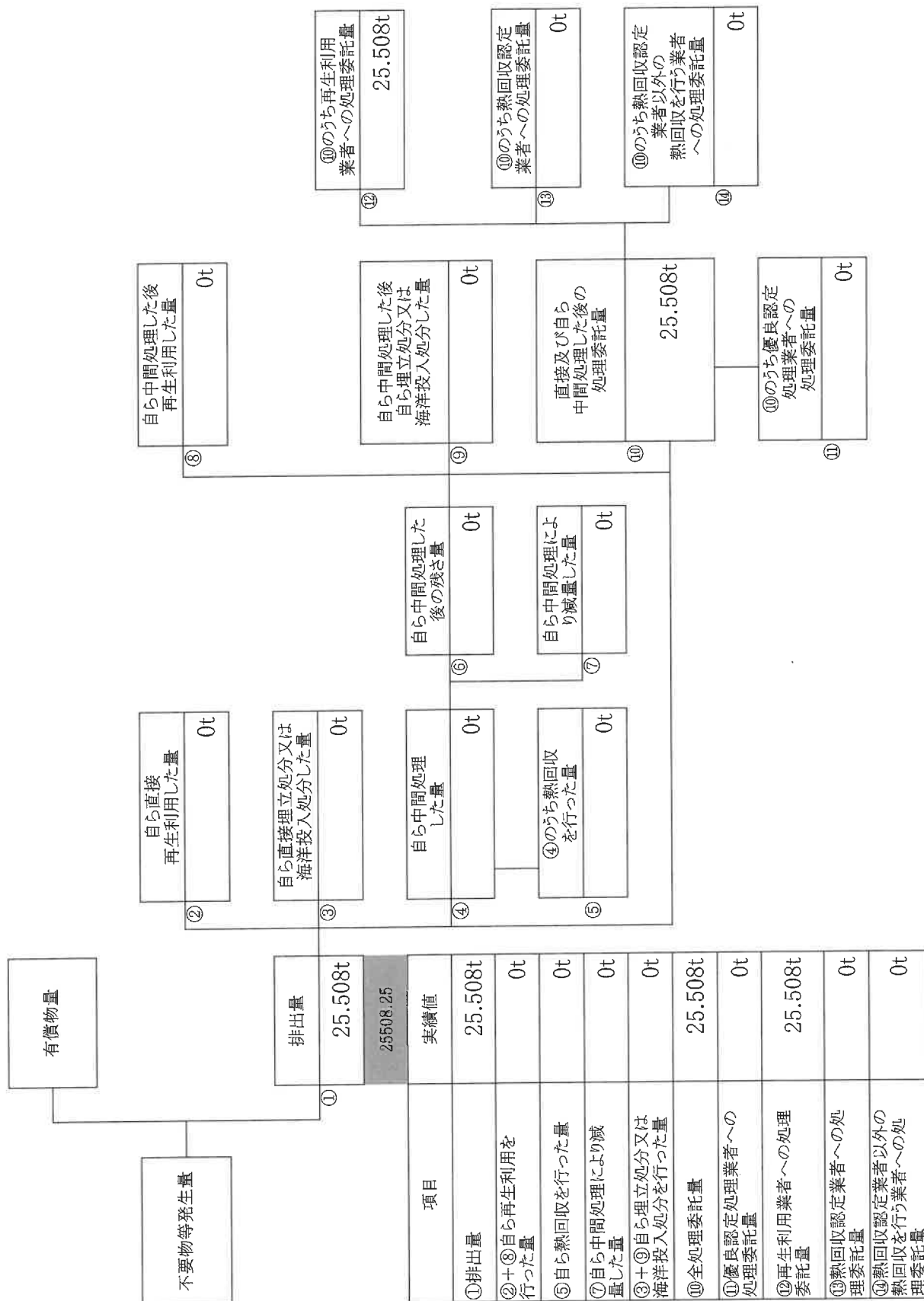
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
2025年6月30日	
群馬県知事 あて	
	提出者 〒374-0111
	住 所 群馬県邑楽郡板倉町大字海老瀬7208番地
	氏 名 第一石鹼（株）代表取締役社長 神谷 哲也
	(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
	電話番号 0276-82-3761
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	第一石鹼株式会社
事 業 場 の 所 在 地	群馬県邑楽郡板倉町大字海老瀬7208番地
計 画 期 間	2025年（令和7年）4月1日～2026年（令和8年）3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	E16 製造業 化学工業
②事 業 の 規 模	生産重量 24,985 t 売上金額 87億5千万（2024年度実績）
③従 業 員 数	213名（2025年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照（廃棄物処理フロー） ・汚泥：混合→鉄鋼原料・セメント原料・発電燃料 ・廃油：混合→セメント原料 ・廃アルカリ：中和→セメント原料・路盤材・製鉄原料 ・廃プラスチックRFP可能：減容固化→固形燃料 ・廃プラスチックRFP不可：焼却→燃料 ・木屑：破砕→製紙原料・ボイラー燃料 ・金属屑：破砕→再生 ・ガラス陶磁器：安定型埋立

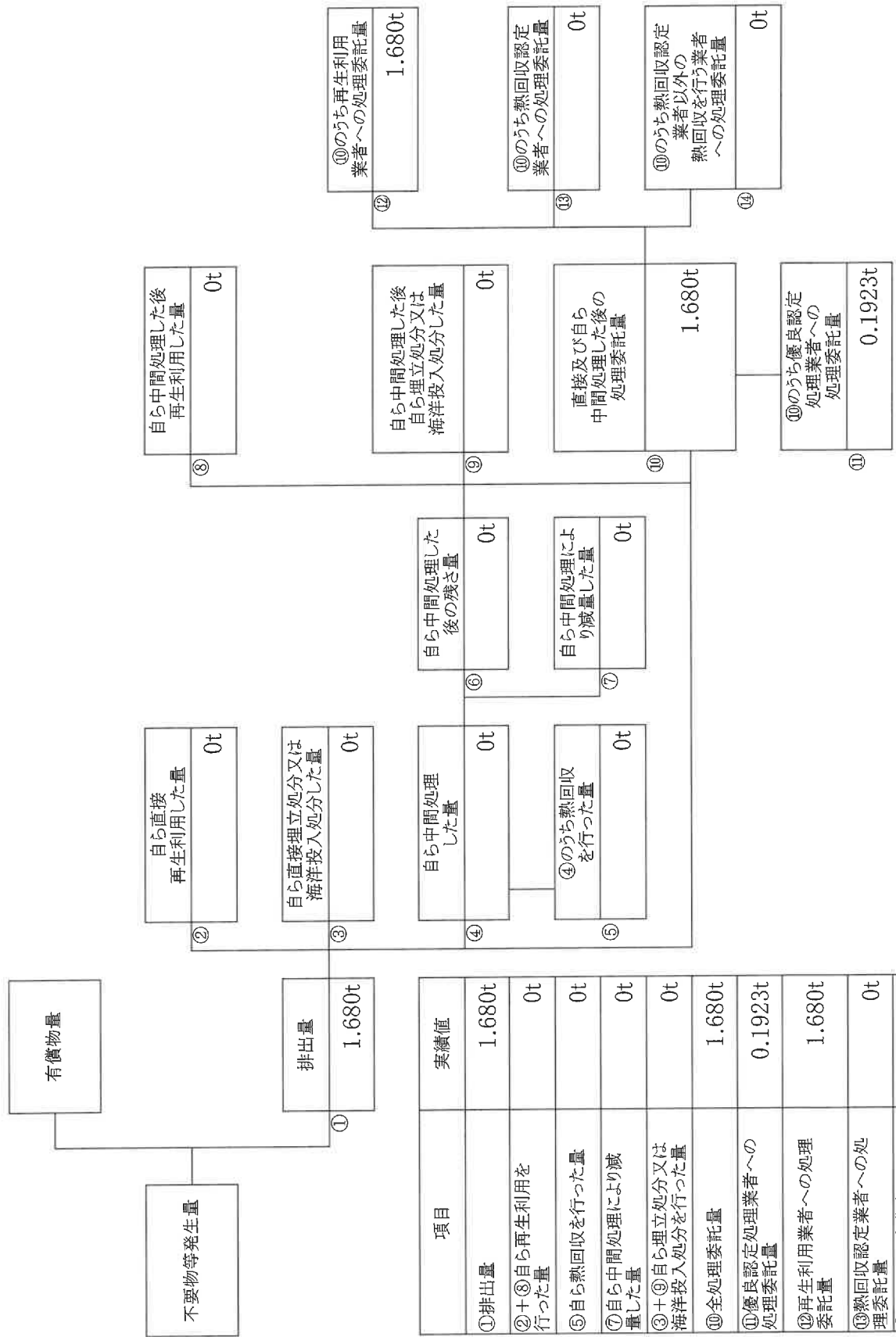
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



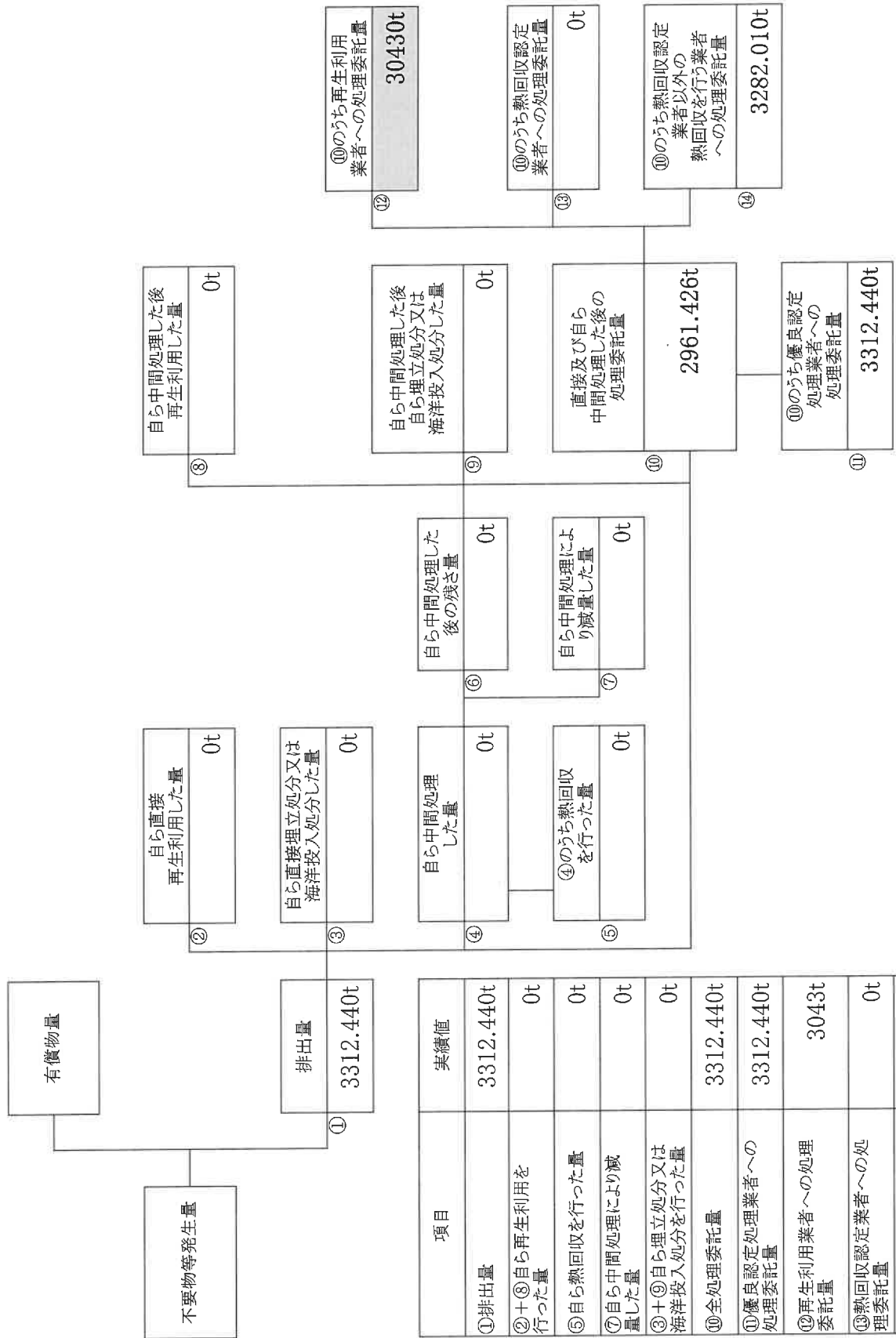
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)



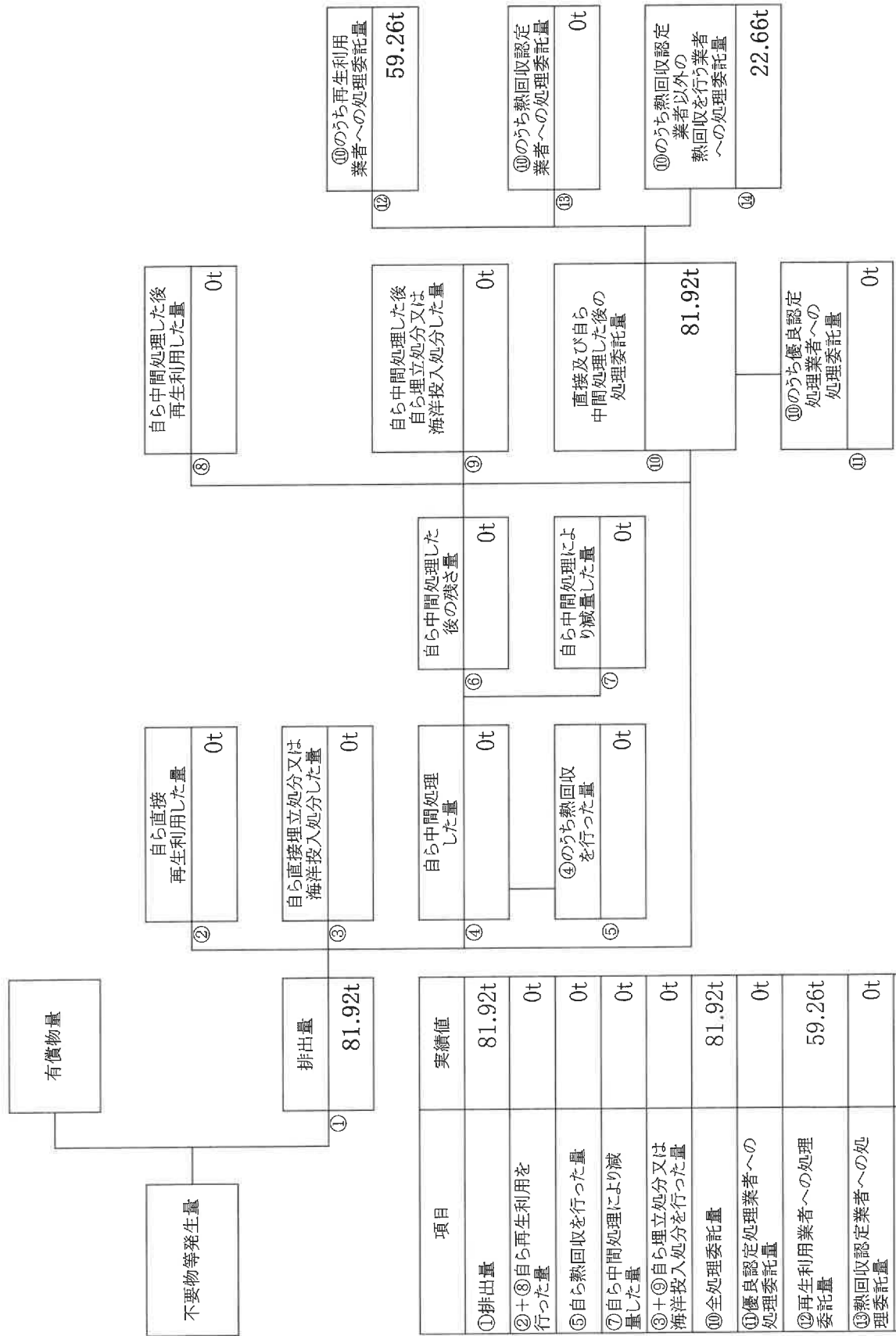
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

39.98t

②
自ら直接
再生利用した量
0t

③
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
0t

④
自ら中間処理
した量
0t

⑤
④のうち熱回収
を行った量
0t

⑥
自ら中間処理した
後の残さ量
0t

⑦
自ら中間処理によ
り減量した量
0t

⑧
自ら中間処理した後
再生利用した量
0t

⑨
自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
0t

⑩
直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
39.98t

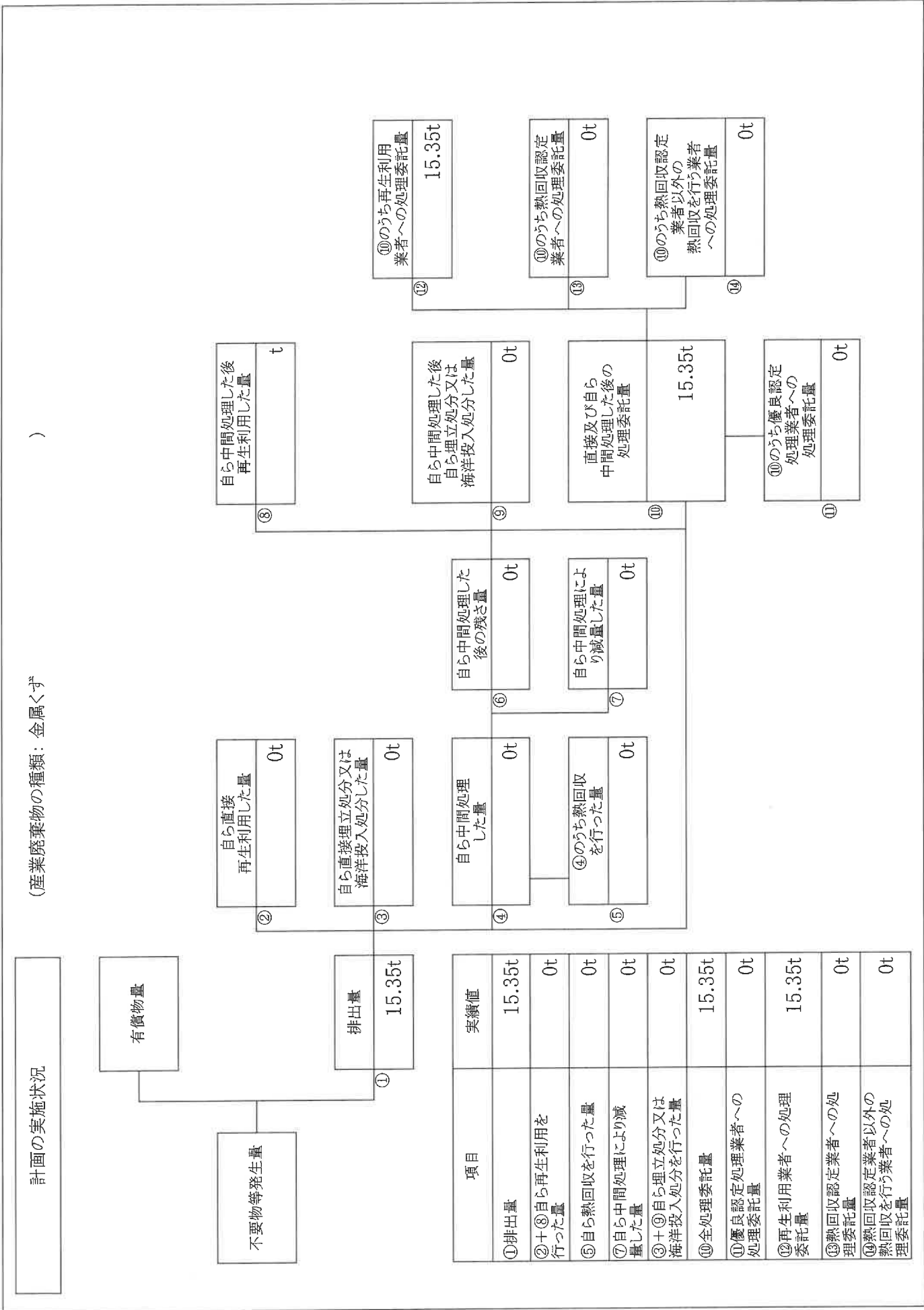
⑪
⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
0t

⑫
⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
39.98t

⑬
⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0t

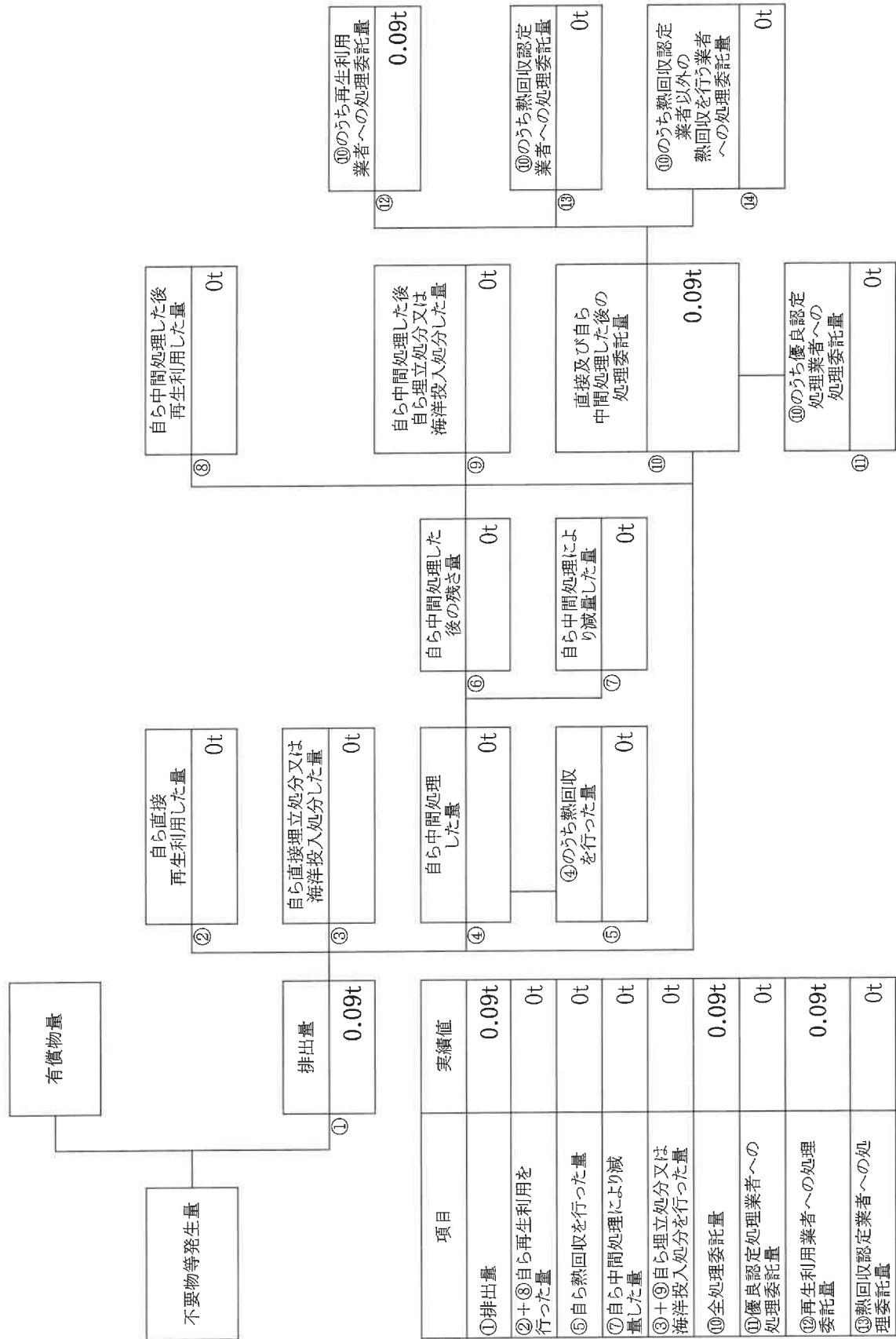
⑭
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
0t

項目	実績値
①排出量	39.98t
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減 量した量	0t
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	39.98t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理 委託量	39.98t
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0t



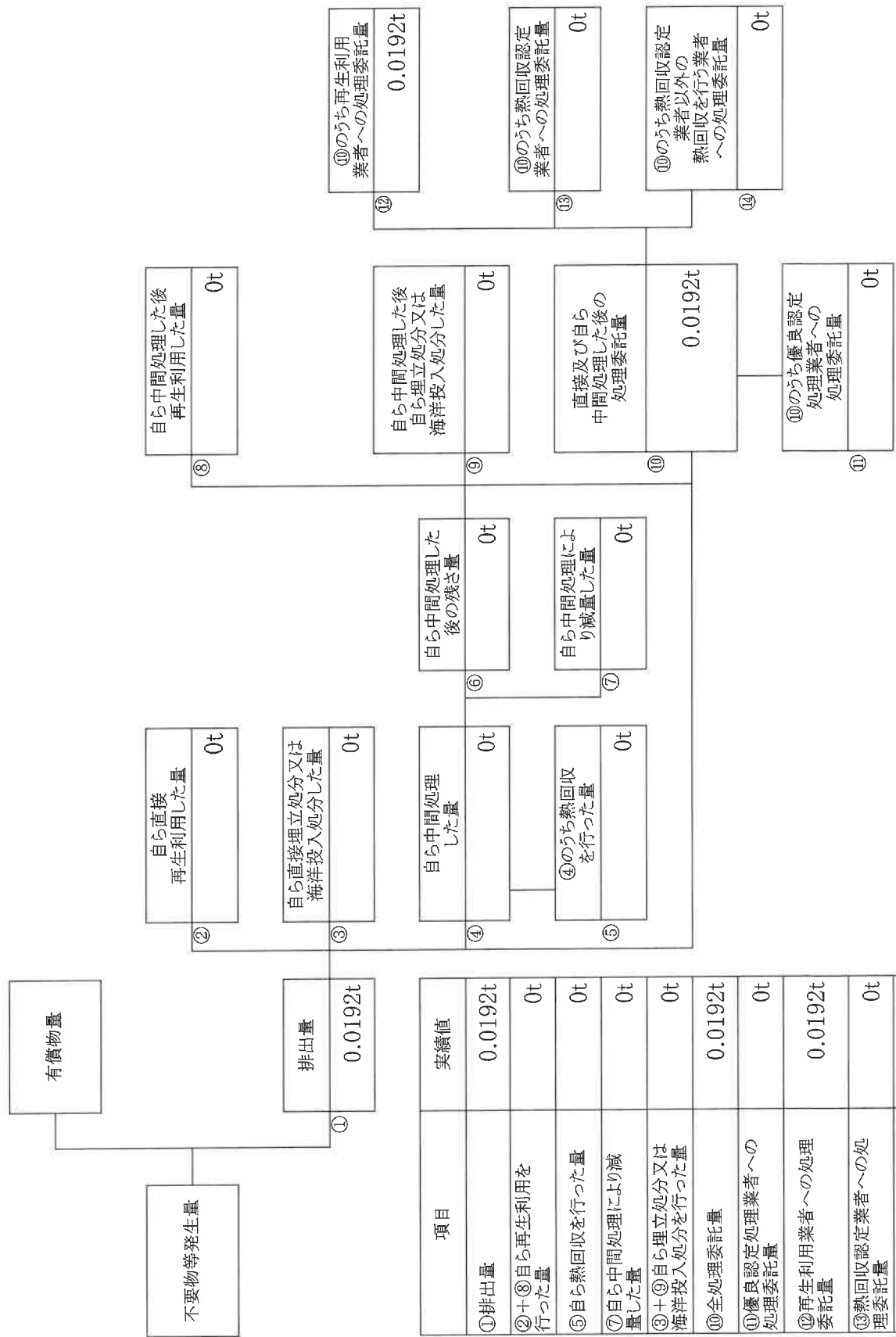
計画の実施状況

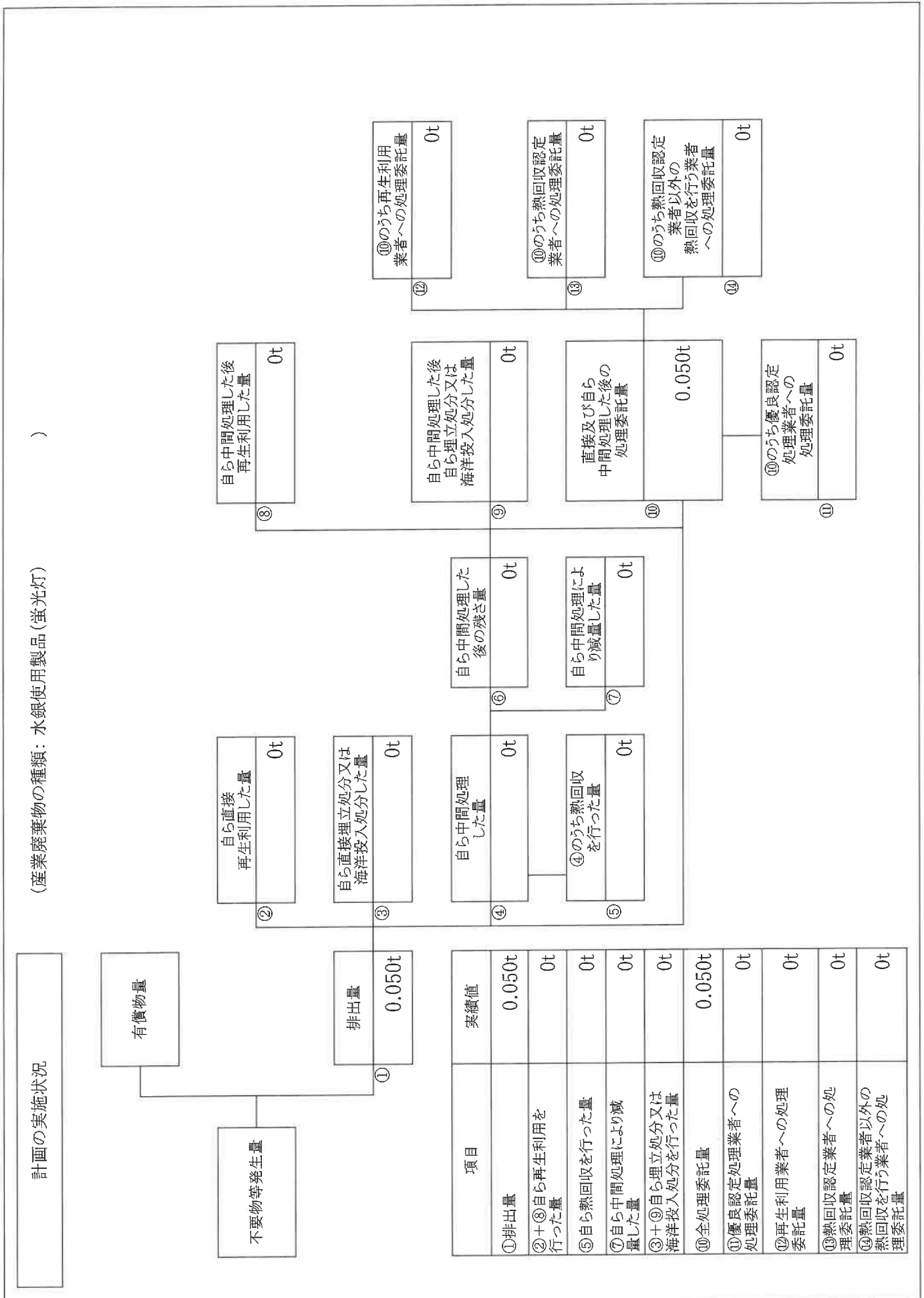
(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



計画の実施状況

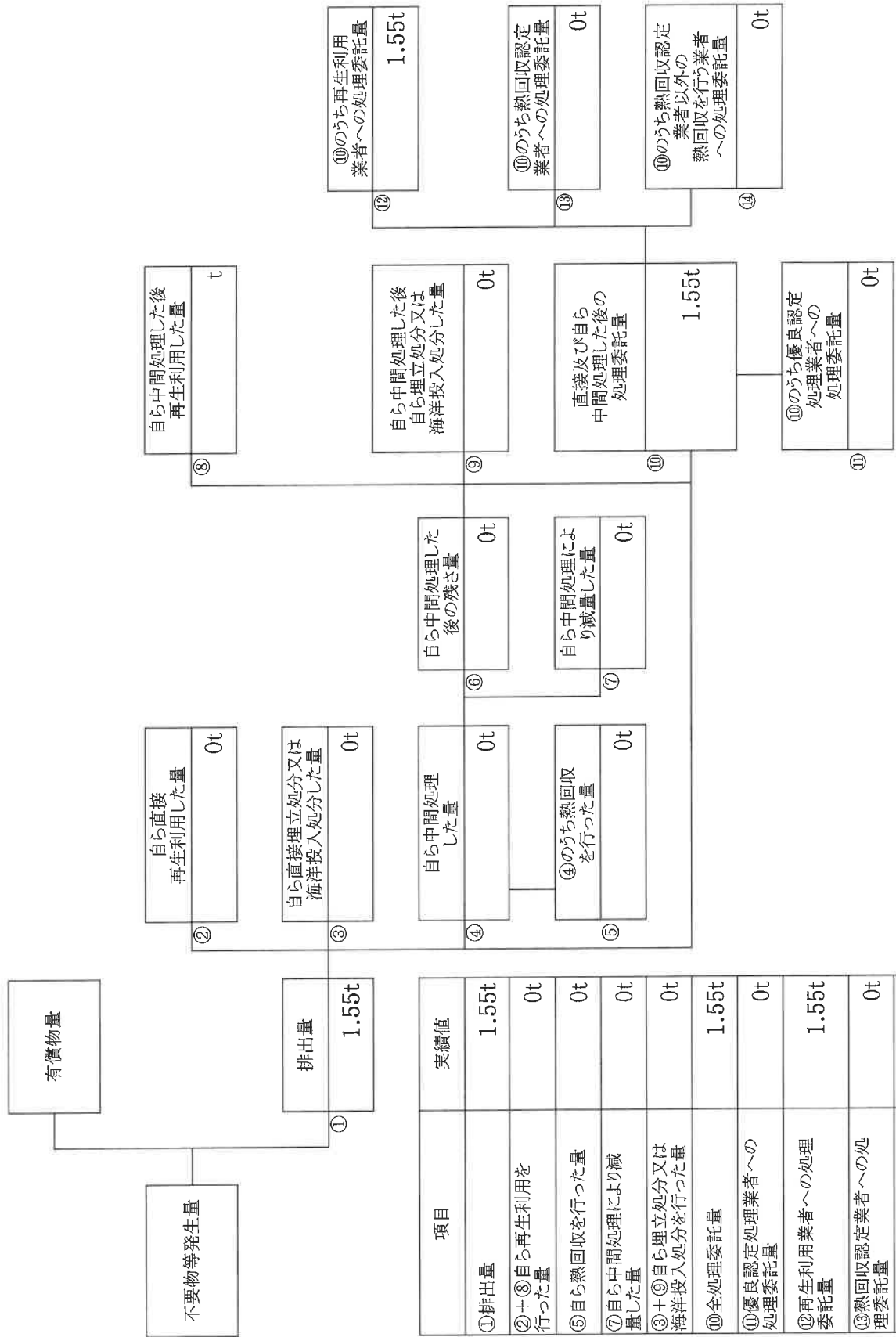
(産業廃棄物の種類：廃酸)





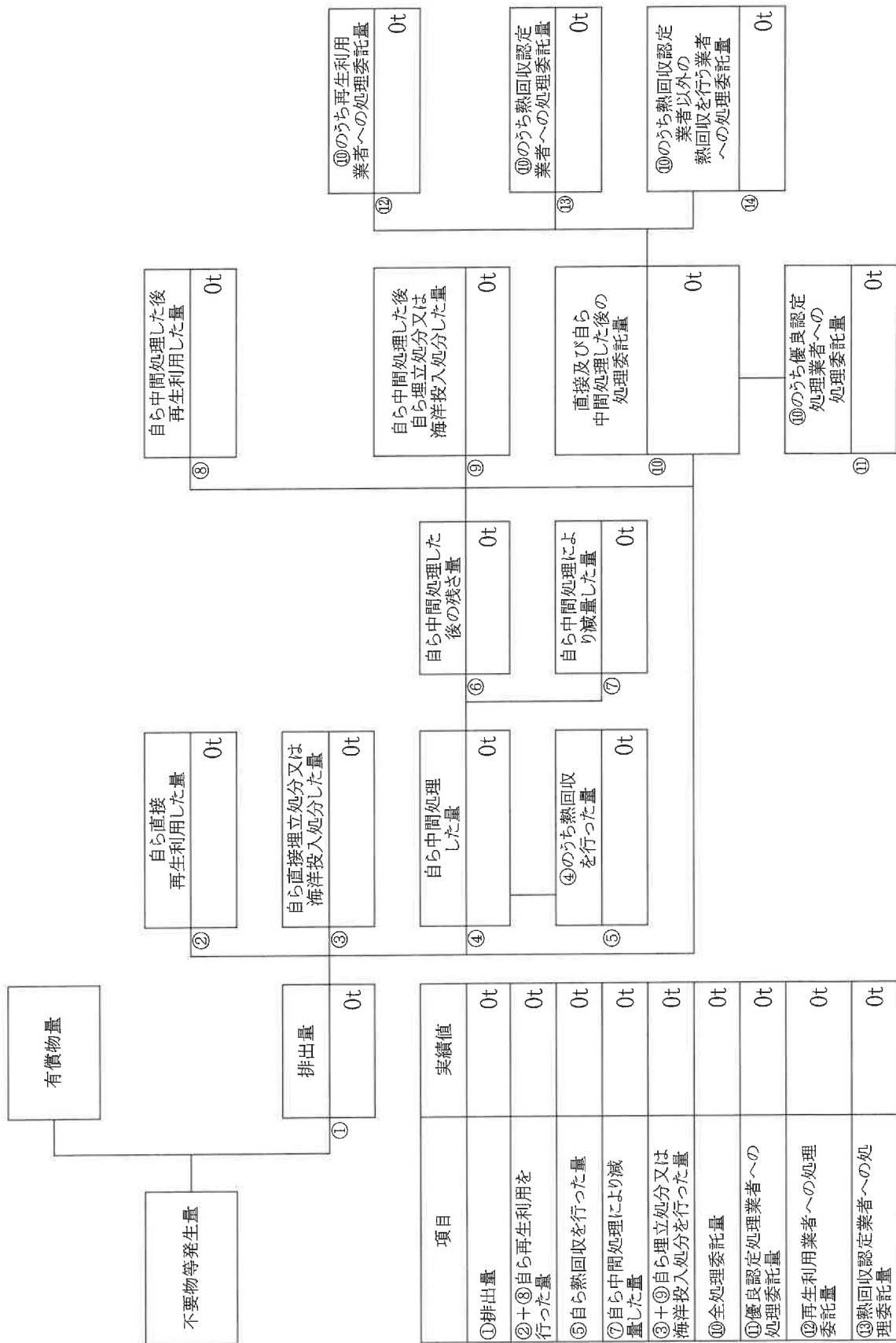
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属複合物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。